

京都大学 医学部 人間健康科学科
先端リハビリテーション科学コース

先端作業療法学講座

Advanced Occupational Therapy

令和5年度 特色入試について



このパンフレットの概要

高校生のみなさん、こんにちは！

このパンフレットを手にとってくださった方は、
「作業療法ってどのような学問？」
「京都大学の先端作業療法学講座は
どのようなところ？特徴は？」
「特色入試ってどのようなもの？その対策は？」
など、知りたいことは様々だと思います。

本パンフレットは、

- ◆ 特色入試経験者
- ◆ 在校生
- ◆ 卒業生
- ◆ 教員

から、それぞれの体験談や現在取り組んでいる活動などを
語ってもらい、みなさんの疑問を少しでも解決できるように
作成しました。

みなさんにとって、

「作業療法学を京都大学で学ぶことの意義や目的」
の理解が深まり、特色入試を受験していただく原動力の
一助となれば、大変嬉しく思います。



さあ、京大先端作業療法学講座の扉を
開いてみましょう！



京都大学で作業療法を学びませんか？

作業 療法学は、リハビリテーションにおける重要な分野です。当講座では、専門領域の教員による講義・学内実習と、近畿圏の医療施設での学外実習を通じて、高度な知識と技術をもつ医療専門職を養成しています。さらに当講座では、修士課程・博士後期課程への進学を推進しています。そして京都大学内外のさまざまな研究グループと連携し、作業療法研究のフロンティアを開拓しています。

先端作業療法学講座で学ぶ知識・技術はさまざまな分野に応用できます。医療分野だけでなく、幅広い進路選択が可能です。



京都 大学には数多くの研究者が在籍し、独創的な研究を行っています。iPS細胞を用いた再生医療の拠点でもあります。また、自らが学びたいことを自由に学べる環境が整備されています。優れた研究者の生の講義を聞くこともできます。

さまざまな興味関心をもつ学生が一つの場所に集まり切磋琢磨する中で、多彩なつながりが生まれます。

作業療法 Occupational Therapy の紹介

作業療法（OT）とは

作業療法とは、障害の有無に関わらず、全ての人が生き生きとした生活を送れるよう、仕事や遊びなど日常生活の中での様々な活動（作業）を通して、こころとからだに働きかけるリハビリテーションです。

作業療法の4つの専門領域

作業療法には、主に4つの専門領域があります。年齢に関係なく、日常生活に支援が必要な全ての人が作業療法の対象です。（写真は臨床模擬場面です）



【身体障害の領域】

病気やけがで脳や体に障害を負った人が家庭・社会生活に適応できるよう、様々な動作の再獲得に向け練習・支援を行います。



調理動作を模擬的に練習する



【精神障害の領域】

精神に障害がある方を対象に、作業活動を通して、心身機能の回復、日常生活の自律、社会参加に向けた援助を行います。



復職に向けたリハビリテーション



【発達期の領域】

病気や障害のある子どもと家族のウェルビーイングを目指して、発達課題に応じた遊びを用いて発達を促します。



楽しい遊びの中で発達を促す



【高齢期の領域】

個人にとって意味や効果のある活動を用いながら、健康を促し、より良い日常生活の構築に向けた援助を行います。



健康と有意義な生活を送るための支援

特色入試入学者からのメッセージ



後藤田 遥菜さん（令和4年度特色入試合格者）

作業療法に興味をもったきっかけを教えてください。

高校で京都大学の教授が生体機能学についての研究の話をされていて、そこで作業療法学を知りました。その後個人的にインターネットで他の研究を調べた時に特に発達障害リハビリテーションに興味を持つようになりました。

作業療法を学ぶ場として京都大学を選んだ理由を教えてください。

自分の興味のある研究をしていたということもあったのと、勉強が苦手だったので志望理由や大学で学びたいことなどの意欲を買ってくれるという特色入試に

魅力を感じたからです。あと単純に京都大学という自分にとって高い目標に挑戦してみたかったからです。

特色入試を受験してよかったことを教えてください。

大学に入学する時点で明確な目的があった分、高いモチベーションを持つことができたのと、コースが決まっているため一般入試の人に比べて早い段階から作業療法学を学ぶ機会があったりしてより一層勉強意欲が増しました。そして、受験期に目的を持たずに勉強していた私にとっては具体的に自分が今後何をしたいか考える時間を作ることもできました。

特色入試に向けてどのような準備や対策をしたかを教えてください。

作業療法士についての基本的なことについてだけですがたくさん調べてみました。過去問題を解いてみたり、現代の医療でどのような問題があるのか調べたり、ニュースに取り上げられている話題に対して自分はどう思ったのか意識的に考えるようにしました。他には様々な状況をイメージしてみて自分がもし作業療法士ならどんな行動を取るのか考えるようにもしました。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

作業療法学に少しでも興味があったり、面白そうだなって思ったなら特色入試を受けてみてください！自分の将来像を改めて考えることのできる良い機会にもなると思います。自分の思いを全力で伝えてみてください！応援してます！



堀 愛渚さん（令和4年度特色入試合格者）

作業療法に興味をもったきっかけを教えてください。

中学生の時に作業療法士の仕事を体験させて頂く機会があり、それをきっかけに作業療法士を知り、興味を持つようになりました。高校生になって進路について真剣に考え始めて、作業療法士について調べていくと自分のやりたいことも明確になり、作業療法を学びたいと強く思うようになりました。

作業療法を学ぶ場として京都大学を選んだ理由を教えてください。

作業療法の最前線で働いておられる先生方の講義や研究指導、最先端の研究・開発が行われている附属病院と連携した授業や実習を受けられることに魅力を感じ

ました。自分がやってみたい研究をしたり、将来必要な作業療法の知識や技術を学んだりするのに最適な環境だと感じ、京都大学への受験を決めました。

特色入試を受験してよかったことを教えてください。

自分と向き合う時間が取れたことです。将来何がしたいのか、そのためには大学で何を学び、どう活かしていくのかといったことを深く考えることが出来ました。高校生のうちに将来について具体的に考えることが出来たのはとても有意義なことでした。

特色入試に向けてどのような準備や対策をしたかを教えてください。

まずはしっかり作業療法に対する自分の思いや考えを明確にしました。学びの設計書は何度も学校の先生に添削して頂き、面接練習は友達にも協力してもらいながら行いました。また論文対策としては、過去問を解いてイメージを掴んだり、ニュースや本を見て引き出しを増やしたり、英語力を高めたりして論文試験に必要な力を養いました。面接や論文は慣れが大切だと思うので、数をこなしました。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

特色入試に向けての準備や対策は大変だと思いますが、自分とじっくり向き合うことのできる貴重な機会だと思います。ぜひ特色入試で自分の個性や熱い思いをアピールしてみてください！

特色入試入学者からのメッセージ



藤原 彩加さん（令和4年度特色入試合格者）

作業療法に興味をもったきっかけを教えてください。

学校での研究発表活動の中で医学に興味を持ち調べる中で、トウレット症候群という病気に出逢いました。病気を患う方のインタビュー動画をみるなかで、人々にあまり知られてない病気を患う方がより良い形で生活ができ、より多くの人が視野の外にある病気に対して理解を示せるような世の中にすることに尽力したいと思い、作業療法学を深く学んでみたいと感じるようになりました。

作業療法を学ぶ場として京都大学を選んだ理由を教えてください。

自分にとっては高い壁でしたが、レベルの高い作業療法学を学び、自信に必要な知識や経験を習得するために、挑戦してみるのも良いなと感じて、京都大学を選びました。

特色入試を受験してよかったことを教えてください。

学びの設計書を通して、自分と向き合ってしっかりと考え言葉にしたことで、自分の中での目標を確立することができ、そのことが自分の中で自信となり色々なことを頑張れる力に繋がったことです。

特色入試に向けてどのような準備や対策をしたかを教えてください。

学びの設計書や小論文は、学校の先生に原稿や解いたものを添削して頂き、それを理解し書き直して、完成形にもっていきました。面接は、特色入試を受ける子達と一緒に練習をしたり、皆で集まって一つの題を取り上げて、どのように考えて答えるか話し合いました。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

私は、特色入試は自分が作業療法に少しでも興味があるならば、ぜひ挑戦すべき素敵な機会だと感じます。一緒に作業療法を学べる日を楽しみにしています。



張木 すみれさん（令和3年度特色入試合格者）

作業療法に興味をもったきっかけを教えてください。

初めて作業療法士について知ったのは高校二年生の時です。父が入院して脳の手術を受け、退院後に家で腕の感覚を取り戻すために様々なリハビリを行っているのを見て「どのような人がこのようなリハビリ方法を考えているのだろう」と興味を持ちました。調べていくうちに、作業療法士とは身体的・精神的な障害を持つ方、障害の発生が予想される方等、様々な方々を多方面から支援することができる職業であると知り、作業療法をもっと深く学びたいと思うようになりました。

作業療法を学ぶ場として京都大学を選んだ理由を教えてください。

元々、京都大学に対して漠然とした憧れを持っていました。京都大学見学会やオープンキャンパスなどを通じて自由な学風や学習環境の充実性を体感し、その気持ちがさらに高まり、受験を決めました。

特色入試を受験してよかったことを教えてください。

学びの設計書を通して自分自身を見つめなおすことができたことです。なぜ作業療法士を志したのか、大学で何を学びたいのか、大学で学んだことを将来どのように活かしていきたいのか等をじっくりと考えて言葉にすることで、心が軽くなり、学習に対する意欲が湧きました。

特色入試に向けてどのような準備や対策をしたかを教えてください。

過去問を解いたり、面接ノートをつくったりしました。明確な答えがある問題というよりは思考力を試す問題や自分の意見・考えを述べる問題が多い印象だったので、ニュース等で取り上げられている話題に対して自分の意見を考えたり、他の人の意見を参考にして自分の意見を発展させたりすることを意識的に行っていました。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

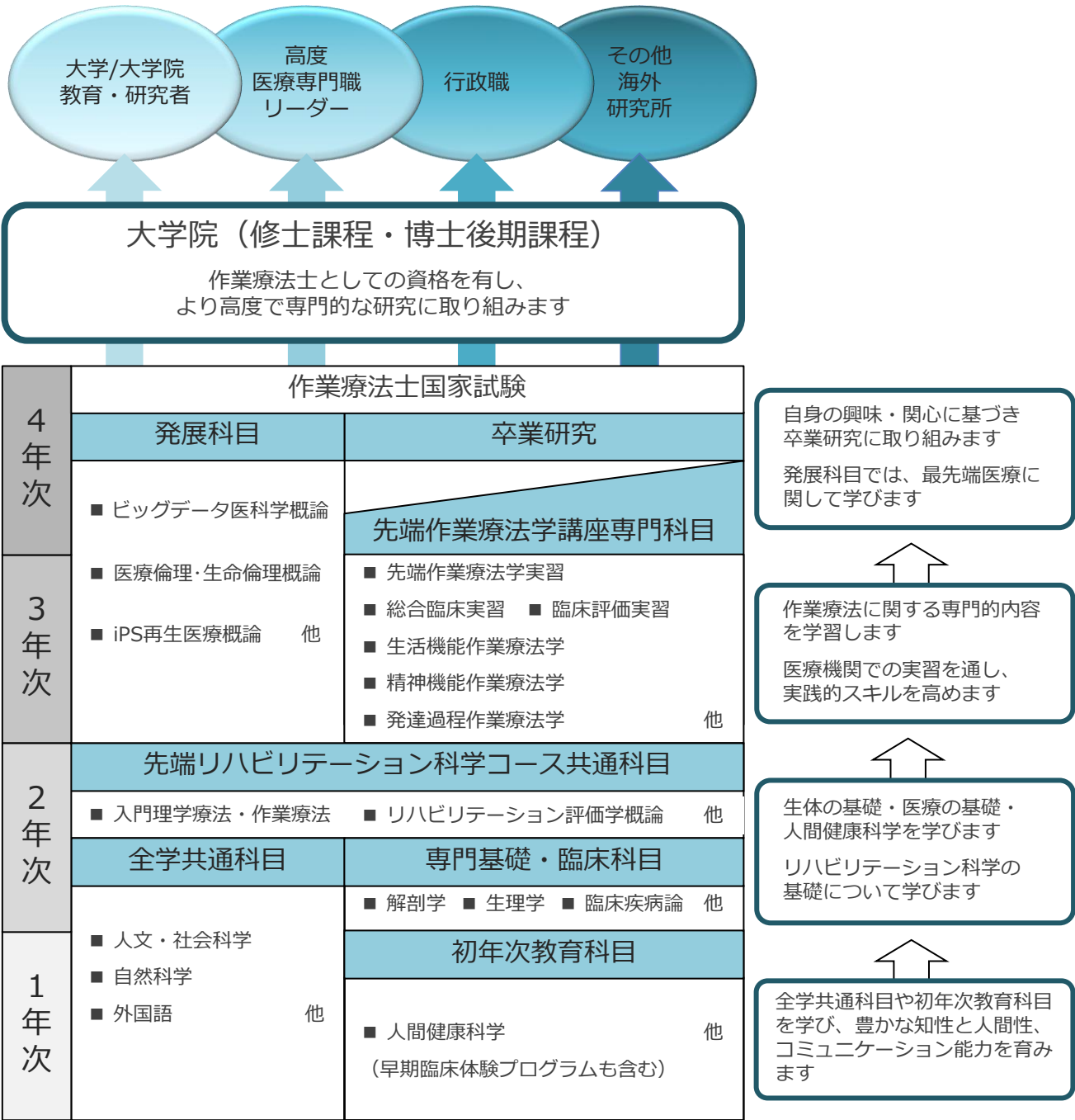
特色入試では学力だけでなく個性や熱意も含めて判断してくれるため、自分の全てを教授の先生方に最大限アピールすることができます。ぜひこの機会を活かしてほしいです。同じ志を持つ仲間として共に学べることを楽しみにしています！

先端作業療法学講座での人材育成

先端作業療法学講座で育成する人材像は以下の通りです。豊かな人間性と幅広い視野を有し、作業療法の進歩と発展を研究、高度実践により牽引する役割を担う人材を育成します。

- ◆ チーム医療において高度な専門性とリーダーシップを備えた作業療法士
- ◆ 医療・保健・福祉・行政において幅広い視野から施策計画に携わる作業療法士
- ◆ 独創的・科学的視点から研究および臨床の課題に取り組める作業療法士
- ◆ 国際社会の中で活躍できる作業療法士

先端作業療法学講座の学部卒業者（卒業見込者）には、作業療法士国家試験受験資格が与えられます。この国家試験に合格すると作業療法士の国家資格を得ることができます。
京都大学の先端作業療法学講座は、世界作業療法士連盟（World Federation of Occupational Therapists; WFOT）による教育水準を満たしており、認定を受けています。



先輩からのメッセージ

特色入試で入学した3回生・4回生が語る 特色入試による入学のメリット について見ていきましょう！！



鳥山 雅さん（3回生、令和2年度特色入試合格者）

作業療法を京都大学で学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

私は中学校・高校時代に行った福祉活動の中で、筋萎縮性側索硬化症（ALS）という難病を患う人たちと関わる機会があり、その方々を支える「作業療法士」という職業に興味を持つようになりました。ALSによって障害を受ける運動神経などについて神経生理学で学びを深めることで、将来それらについて研究したいと強く思うようになり、作業療法を学ぶ場所として、臨床だけでなく最先端の研究も行うことができる京都大学を選びました。

特色入試にて入学後の一般入試での入学生との違いについて教えてください。

特色入試ではコースが入学時点から決まっているため、1年次から専門的なことを学ぶことができました。特に、様々な研究室の話聞き、研究室見学や実験アシスタントも実際に行うことができ、早くから研究に触れたことで作業療法学に対する興味がより深まり、自分のやりたい研究や将来像をより明確に描くことができました。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

京都大学作業療法学講座は、自分が学びたいことをとことん学べる環境です。作業療法士を目指したいと強く思っている高校生の皆様、ぜひ特色入試にチャレンジしてみてください。一緒に京都大学で学べる日を楽しみにしています！



北島 未菜さん（4回生、平成31年度特色入試合格者）

作業療法を京都大学で学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

祖母の認知機能低下を感じ、調べていくうちに認知症について興味を持ちました。そこで、認知症に対する作業療法を知り、日常生活に関連が深い作業療法の研究を学びたいと思いました。京都大学では作業療法や関連分野での最先端の研究が行われており、最適な環境であると考え、志望しました。また、様々なことに興味関心のあるレベルの高い学生が集う場が面白そうで魅力的だと思いました。

特色入試にて入学後の一般入試での入学生との違いについて教えてください。

2年次のコース配属に先立ち、1年次から作業療法に特化して学べることです。日本作業療法士協会会長や最前線で働く作業療法士の方にお話をお伺いできる授業があります。多様化している働き方や最新の研究について学び、様々な観点から作業療法の魅力を知れます。早期から作業療法を学べたことは、3年次から始まる実習や卒業研究でも、将来を見通して進められる手立てとなったので、非常に良かったと実感しています。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

特色入試を受けるのは、少しハードルが高いと思われるかもしれませんが、志望理由書の推敲や小論文・面接対策をする中で、将来のビジョンを明確化できる有意義な機会です。自分の将来について熟考し、教授の方々にプレゼンすることができます。「作業療法について学びたい！」という熱意のある受験生は、ぜひ特色入試のチャンスを活かしてほしいと思います。共に京都大学で学べる日を心待ちにしています。

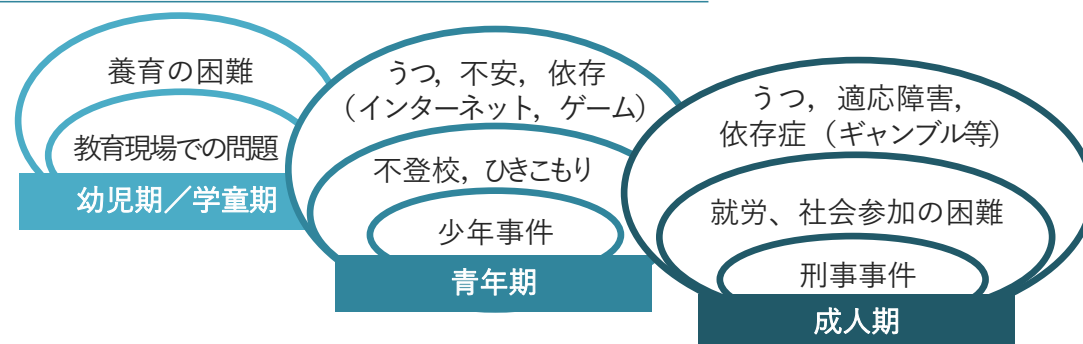
先端作業療法学講座が運営する卒後の人材育成

「発達症への介入による国民的健康課題の解決」プログラム

我が国では現在、うつ・不登校・ひきこもり・依存症といったメンタルヘルスの問題が対処に注力すべき健康課題となっています。これらの問題の背景に、発達症、なかでも自閉スペクトラム症（autism spectrum disorder: ASD）が大きく関与していることが、近年臨床現場から指摘されるようになりました。

ASDを持つ人が抱える問題は、ASD特有の物事の捉え方や物事への反応の仕方（精神生理）、体験様式（精神病理）、ライフステージやその人を取り巻く状況などにより、多種多様な形で現れます。そのため、支援には医療・教育・就労・福祉・司法などの領域で多職種・多機関の連携を必要とすることが少なくありません。しかしながら、ASDの精神生理や精神病理を理解した上で支援にあたる専門家はまだまだ少なく、専門家を養成する教育機関もごく僅かというのが現状です。

自閉スペクトラム症のある人がライフステージで直面する問題



平成31年度からスタートした「発達症への介入による国民的健康課題の解決」(ASD project)は、文部科学省の資金提供のもと、本学の半世紀以上にわたるASDへの取り組みを活かし、作業療法学講座の教員が中心となって運営されるプログラムです。医療者および医療関連職に就いている方を対象として、医療分野のみならず、アートや司法領域の内容も含んだ授業や参加体験型実習、事例分析論文の作成指導を2年間で行い、「自閉スペクトラム症高度専門支援者」を育成します。

- ◆ ASDの診断・評価の基礎となる医学的知識と特徴的な精神生理や精神病理を理解し、ASDの人がライフステージで直面する諸課題に対して適切に対応し支援できる専門職
- ◆ メンタルヘルス問題に関連する医学、保健学、心理/社会学、リハビリテーション科学などの複合領域の知識と技術を用いて学術的に問題解決できる実務家



養成した人材およびその所属機関と本学との間で発達症リハビリテーションネットワークを形成し、メンタルヘルスに関する我が国の健康課題を解決に近づけていきたいと考えています。

ASD projectの詳細については、下記HPを参照してください。
QRコードからもアクセス可能です。

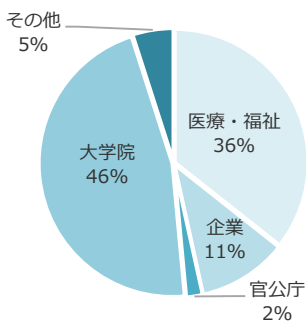
<https://asdproject.jp>



活躍の場（卒業後の進路）

平成29～令和3年度（過去5か年）の学部卒業生の進路状況は、作業療法士として医療・福祉機関へ入職する者が36%でした（円グラフ）。46%の学生は大学院（修士課程）に進学しており、また11%の学生は本講座での学びを活かして一般企業に就職しています。

作業療法士の活躍の場は、進展しつつある長寿社会と疾病の多様化を背景に、あらゆる分野への広がりをみせています。本講座の学部卒業生の多くは、大学院へ進学することが予測され、先端的な他分野と融合しながら、作業療法の研究・高度実践にグローバルな視点から携われる人材として、卒業後の進路先は幅広いものとなっています。下表は、先端作業療法学講座の卒業生（大学院修了者を含む）の進路を一部紹介しています。医療、保健・福祉機関のみならず、学校での特別支援教育、行政や健康関連産業におけるリーダーとしての役割も期待されています。



卒業生進路状況（平成29～令和3年度）



作業療法士の活躍の場

先端作業療法学講座卒業生（大学院を含む）の進路 ※令和4年6月現在

大学・研究機関	■ 国立・公立・私立大学法人での作業療法の教員・研究員 京都大学/ 国際医療福祉大学/ 関西医科大学/藍野大学/ 森ノ宮医療大学 四条畷学園大学/大阪河崎リハビリテーション大学/日本学術振興会特別研究員 他
医療/福祉機関	■ 大学病院 京都大学医学部附属病院/ 京都府立医科大学附属病院/ 名古屋大学医学部附属病院/ 千葉大学医学部附属病院 他 ■ 身体障害領域 大阪国際がんセンター/ 滋賀県立総合病院/ 天理よろづ相談所病院 名古屋市総合リハビリテーション事業団/ 京都大原記念病院/ 蘇生会総合病院/ 宇治武田病院/ 医学研究所 北野病院 他 ■ 精神障害領域 大阪府立精神医療センター/ 岡山県精神科医療センター/ 宇治おうばく病院/ 長岡ヘルスケアセンター/ 滋賀県立精神医療センター/ 北山病院/ 茨木病院 他 ■ 発達期領域 愛知県医療療育総合センター/ 寝屋川市立あかつき・ひばり園/ 奈良県総合リハビリテーションセンター/ 川西さくら園/ ハートランドしぎさん 子どもと大人の発達センター 他 ■ 高齢期領域 介護老人保健施設 あじさいガーデン伏見 他
その他	■ 海外の研究機関での研究および臨床（留学） 南カリフォルニア大学/ Fall River Health Service (米国サウスダコタ州) 他 ■ ヘルスケア産業・学校教育 アシックスJapan(株)/ 亀岡市立亀岡小学校 他 ■ 官公庁 東京都職員/ 神戸市役所 他 ■ 一般企業 (株)医学書院/ 医歯薬出版(株)/ 日本メジフィジックス(株)/ 田辺三菱製薬(株)/ 帝人(株)/ 日本テレビ放送網(株)/ (株)テレビ朝日/ 三菱UFJ信託銀行(株) 他

社会で活躍する先輩からのメッセージ（1）

先端作業療法学講座での学びが、卒業後どのように活かされているか紹介します。

最先端の研究施設で研究者の道を歩む！



華井 明子さん（特定国立研究開発法人 理化学研究所）

卒業後の経過（現職に就くまで）を教えてください。

学部卒業後、作業療法士として病院就職し、主にがんや神経難病の患者さんの緩和ケアリハビリに従事しました。臨床経験から、より早い時期から患者さんのつらい症状を改善したいと考え、大学院に入り、抗がん剤治療中からの副作用予防法を研究開発しました。大学院卒業後は国立がん研究センターで臨床試験支援の仕事をする傍ら、副作用予防法の普及を促進するための医療機器開発を行いました。研究を進めるうち、データ駆動型研究開発の必要性を痛感し、現職に就いています。

現在の仕事内容を教えてください。

多岐にわたる測定データから対象者一人ひとりの特性に基づいて健康状態や疾患リスクを予測するための、機械学習等を用いた研究を行っています。

京大先端作業療法学講座で学んだ意義と現在の仕事に活かされていることを教えてください。

臨床試験の実施や国際学会でのディスカッションに学んだことや資格、臨床経験が活かされました。特に患者さんをどのように評価するか、背景理論から具体的な注意点まで学んでいたことはとても役に立ちました。また総合大学である本学では、プログラミング言語や統計学、各種語学や文化人類学など、幅広い教養を学ぶことができ、現在の学際的な仕事にチャレンジするきっかけとなりました。

高校生の皆さんへメッセージをお願いします。

京大は皆さんの知りたい・研究したいという熱意にきっと応えてくれます。ぜひ頑張ってください。



松本 奈々恵さん（国立長寿医療研究センター）

卒業後の経過（現職に就くまで）を教えてください。

作業療法士として総合病院で勤務する中で、私は高次脳機能障害について興味を抱きました。高次脳機能障害とは、脳の損傷による知的な機能の障害のことです。この高次脳機能障害についての知識を深めたいと思い、修士課程へ進みました。修士・博士課程では、機能的磁気共鳴画像（fMRI）を用い高次脳機能障害についての研究を行ってきました。その過程で、1つのことを探求することの面白さを知り、博士課程修了後、研究者として就職しました。

現在の仕事内容を教えてください。

現在は、認知症の予防に関する研究に携わっています。その研究において、認知機能低下を抑制するメカニズムを脳機能画像を用いて明らかにしようとしています。

京大先端作業療法学講座で学んだ意義と現在の仕事に活かされていることを教えてください。

修士・博士課程では所属研究室の先生方、そして所属研究室以外の先生方にご教授いただきながら研究を遂行してきました。京都大学では、所属研究室から飛び出て他の研究室の先生方と協力して研究を実施することができ、様々な分野の先生方の知識を吸収することができます。京都大学で学んだ統計や脳画像解析など研究に関する基礎知識や様々な分野の先生方と話すためのコミュニケーション能力は、現在の研究者としての仕事に役立っています。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

作業療法士は、病気や事故などによって身体や精神に障害を有した方々がその人らしく今後の人生を歩んでいけるように援助するリハビリテーションの専門職です。京都大学では、作業療法についての最先端の知識を学ぶことができます。また、異なる分野の先生方とも関わることができ、皆さんの知的好奇心が刺激される場所だと思っています。皆さんが京都大学で学ばれることを応援しています。

先端作業療法学講座で学んだことは社会活動の様々な領域で活かされています！
多領域で活躍する先輩が多数いることも京都大学先端作業療法学講座の強みです。

社会で活躍する先輩からのメッセージ（2）

企業でリハビリテーションの技術開発に挑む！



坂本 憲太さん（株式会社テクリコヘルステック事業部）

卒業後の経過（現職に就くまで）を教えてください。

学部卒業後は、新しいリハビリテーションの研究をするために大学院に進学しました。大学院在学中には、「リハビリにイノベーションをおこしたい」という思いが強くなりました。実現するには、リハビリ自体を俯瞰的に見て、外からアプローチすることが一番の近道だと考え、企業に就職するという進路を選択しました。

現在の仕事内容を教えてください。

VRなどの新しい技術を利用したリハビリアプリの研究開発を行っています。

具体的には、アプリを作成するプログラマーと話をしたり、臨床現場の先生と効果の検証を行ったり、新しいリハビリ課題の開発をするためのアイデア出しをしたり等、さまざまです。効果的で楽しいものとなり、患者さんに提供できるかということも日々議論しています。ITと医療の橋渡しをする役目として、一人の作業療法士として医療従事者の目線に立って仕事をしています。

京大先端作業療法学講座で学んだ意義と現在の仕事に活かされていることを教えてください。

作業療法を学問として学び、研究を通して0→1を作るということを経験しました。リハビリの知見はもちろん、新しいことにチャレンジする精神は今の仕事に活かされています。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

京都大学では1人の作業療法士として病院で働くだけでなく、私のように違う形で患者さんを支援するという道を切り開くことができます。ぜひ京都大学に入って、作業療法という学問を楽しく学んでください！

地域の小学校で活躍する！



第十 麻紀さん（京都府亀岡市立亀岡小学校）

卒業後の経過（現職に就くまで）を教えてください。

私は、「困っている子どもや保護者、先生方を、子どもの生活の中心の場である学校で支援したい！」と思い、当時全国でも先駆的に教育現場に入り始めていた先生の元で学ぶために京都大学の大学院に進学しました。研究を進める中で、学校教育に作業療法の視点が活かされ得ることを確信し、学校における特別支援教育推進のためにも、作業療法士の職域を拡げるためにも、学校で働くことにしました。

現在の仕事内容を教えてください。

地域の小学校で通級指導教室担当として働いています。仕事内容は、作業療法の視点を踏まえた子どもへの指導・支援の他にも、保護者や先生方の困り感に寄り添い、子どもの理解を進めたり支援方法を一緒に考えたりすることや、教育と医療との連携を進めること、発達症等に関する知識の啓発を行うこと等、多岐にわたります。

京大先端作業療法学講座で学んだ意義と現在の仕事に活かされていることを教えてください。

京都大学には、学生の興味や意欲を尊重し支援してくださる校風があり、学校作業療法も日本では先駆的な分野ですが、たくさんの先生方や仲間が応援してくださいました。大学院で学んだ、作業療法の知識や技術、他職種連携の重要性、学ぶ楽しさと学び続けることの大切さ等が今の仕事に活かされています。そして今も専門性を高め、教育現場や地域社会により貢献できるように、京大の文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム（ASD project）（本冊子7ページ参照）で勉強しています。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

作業療法士は、今後の日本でより需要が増え、さらに職域を拡げていける職業だと感じています。京都大学という最先端の学びの場で作業療法を学び、その新たな可能性と一緒に探れる仲間が増えることを期待しています。

社会で活躍する先輩からのメッセージ（3）

母校で、教育、研究、臨床に貢献する！



田畑 阿美さん（先端作業療法学講座 講師）

卒業後の経過（現職に就くまで）を教えてください。

高校生の頃から小児脳腫瘍の患者さんやそのご家族の支援ができる作業療法士になりたいと思っていたため、学部卒業後は『がんのリハビリテーション』に関する研究を行うことのできる京都大学大学院に進学し、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランに所属しながら、修士課程・博士後期課程を通してがんのリハビリテーションに関する研究を行いました。大学院博士後期課程在学中には、研究を臨床現場に役立てたい、作業療法士として患者さんやご家族の生活を支援したいと考え、京都大学医学部附属病院リハビリテーション部に作業療法士として就職しました。

臨床実践を通して新たな研究疑問が生まれたり、作業療法学の魅力や幅広さを伝えていきたいという思いが強くなり、現在は母校である京都大学に教員として戻ってきました。

現在の仕事内容を教えてください。

教員というと“教育”のイメージが強いかもしれませんが、仕事内容は様々です。学部生や大学院生に対する教育はもちろんのこと、一人の作業療法士として京都大学医学部附属病院で“臨床”を行ったり、研究者として小児脳腫瘍の患者さんやご家族の将来の支援につながる“研究”を遂行したりと、様々な仕事をしています。

京大先端作業療法学講座で学んだ意義と現在の仕事に活かされていることを教えてください。

京都大学では、各領域のエキスパートによる講義を受けることができ、作業療法学に関する最新の知識や技術を学ぶことができました。また、学部の卒業研究を通して、“教わること”だけではなく、“自身で考え、発見していくこと”の大切さを知りました。卒業研究で行った小児脳腫瘍の患者さんの復学に関する調査で分かった問題点を改善したい、という思いは、今の私の原動力にもなっています。そして現在もその思いを持ち続け、臨床と研究を継続しています。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

私は高校生の頃、勉強はあまり得意ではありませんでしたが、医療者になること、作業療法士として働くことに強い思いがあり、この道に進みました。大学や大学院で医学を学ぶことは難しそう…というイメージがあるかもしれませんが、京都大学の先端作業療法学講座では、学部生の頃から臨床や研究などに触れる機会も多く、その中で、自分自身のやりたい研究や1人1人に合った活躍の場を見つけていけるとと思います。私たちと一緒に、今後の医療につながる勉強や研究をしましょう！

生方 志浦さん（メディカルイノベーションセンター 特定助教）

卒業後の経過（現職に就くまで）を教えてください。

私は学部卒業後、約10年間作業療法士として病院で勤務しました。そこで高次脳機能障害の患者さんと多く出会うと同時に脳の不思議に魅せられて、「脳損傷によってなぜ人の性格や人格が変わってしまうのだろう？」と思い、様々な勉強会に参加するようになりました。研究の楽しさに多く触れたことで大学院修士・博士課程へ進学し、その後ポスドクや海外留学経験を経て、現在もヒト脳機能に関する研究を続けています。

現在の仕事内容を教えてください。

精神疾患や外傷性脳損傷を患う人々の病態の解明を目指し、磁気共鳴画像法（MRI）や陽電子放出断層撮影法（PET）といった脳機能イメージング法を用いて研究を行っています。作業療法の臨床と並行して患者さんから様々なデータを取ることで、科学的根拠に基づくリハビリテーションプログラムを提供するための基礎・臨床研究を行っています。

京大先端作業療法学講座で学んだ意義と現在の仕事に活かされていることを教えてください。

京都大学では創立以来「自由の学風」を築いており、学部時代では自分が興味持つことについて積極的に取り組むことができる環境にあります。また、作業療法学講座では医療専門職としての知識や技術を覚えるだけでなく、目の前の患者さんの障害や症状はなぜ起きているのかについて考え、常に物事を多面的に捉えようとする姿勢を養ったように思います。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

京都大学の教員や学生はみんな優秀で個性的であり、そういった人々との出会いや繋がりは一生のかけがえない財産になります。また、普段の生活の中で「なんでだろう？」と知りたい気持ちが強い学生の皆様、そういった気持ちが尊重されずと持ち続けられ、そして満たしてくれる場所が京都大学だと思いますので、入学についてぜひ検討してみてください！

卒業研究・大学院での研究

多くの作業療法では、作業を通して患者さんの脳に働きかけ、その心身の機能を改善させることをします。本講座では、作業が脳にどのように働きかけるかについて、実際に脳活動を記録することによって検索しています。「脳損傷後の機能代償的可塑性」や「睡眠による脳の回復機能」などに着目して、ヒトを対象とした研究ではfMRI、NIRSなどの脳機能イメージング法、経頭蓋磁気刺激法を用いて、動物を対象とした研究では電気生理学的手法やカルシウムイメージング法を用いて検索しています。



経頭蓋磁気刺激法による脳活動の計測

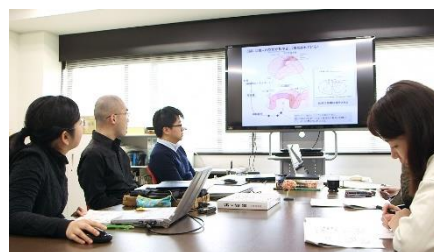


運動時や睡眠中の動物の行動や脳活動の計測

児童精神医学、認知神経科学、発達障害学、少年司法精神医学の学術領域においては、健常者・定型発達者と発達症の人を対象に、認知運動機能、自律神経機能、脳画像の研究や、行動学および質問紙的研究を行っています。具体的には、記憶、注意、対人反応、巧緻運動、ストレス反応、心理特性などを調べています。



不安や緊張に伴う自律神経機能の計測



神経科学の勉強会

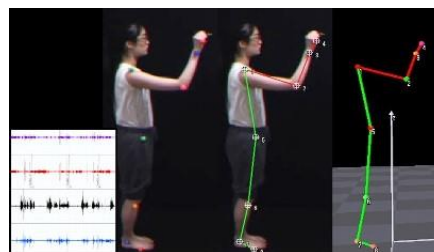
作業療法の臨床研究においては、①身体障害・高齢期の作業療法に関する研究、認知症・認知機能障害を有する人に関する研究を行っています。例えば、がん、呼吸器疾患、心疾患などの身体疾患に伴う注意・認知機能障害のアセスメント法開発や生活への影響の分析、認知症や高次脳機能障害のある人への作業療法の評価や介入法の開発などのテーマを扱っています。

次に、②発達期の作業療法の効果研究や評価方法の開発、小児がんの作業療法に関する研究にも取り組んでいます。手法として、日常生活上の動作について三次元動作解析装置を用いて分析したり、重心動揺・視線計測・自律神経指標・神経心理検査等を用いて研究しています。

さらに、③精神認知機能障害のリハビリテーションとその認知システムの理解のために、神経心理学的指標や生理学的指標を用いた量的研究、インタビュー内容から分析する質的研究、認知行動療法的手法による臨床研究を展開しています。



注意や興味・関心に関わる視線計測



運動時の動作解析及び筋肉活動の計測

大学院生からのメッセージ

博士後期課程在籍者



下出 優さん（令和4年度博士後期課程3年）

大学院に進学したきっかけを教えてください。

私は大学を卒業した後、神戸にある急性期病院に就職しました。日々生死をさまよう患者様を目の前にした時、作業療法の役割について疑問を感じるが多かったです。研究という手段を使って、日々の疑問を深く追求したく、大学院への進学を決めました。

どのような研究を行っているかを教えてください。

病院では心臓リハビリテーション分野に主に関っています。再入院予防が重要な課題となる分野ですが、ストレスのかかる健康管理行動を継続するには、患者様の行動心理と大きく関わることを感じています。博士後期課程では心不全患者に特化した認知行動療法プログラムを開発することを見据え、心不全患者を対象に、ストレス対処行動パターンと疾病管理状況及び予後との影響について観察研究を行っています。

大学院修了後の進路について教えてください。

私は大学院での勉強を通し、作業療法の魅力と可能性について更に感じる事ができました。今までの経験を生かし、病院にいる患者様だけではなく、地域で暮らしている全ての方に作業療法の魅力を伝えていきたいです。いつかは世界で活躍できるように、これからも作業療法の発展に貢献できるような取り組みがしたいと考えています。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

作業療法士は障害の有無に関わらず、人々の可能性を最大限に引き出す視点を常に持ちながら、生活をより豊かにできる専門職です。ぜひ京都大学で同じ目標を持つ仲間と一緒に作業療法を学びながら、自分の新たな可能性を見つけましょう！



松本 杏美莉さん（令和4年度博士後期課程2年）

大学院に進学したきっかけを教えてください。

京都大学は研究環境が整っており、学部に入學した当初から大学院進学を考えていました。学部の卒業研究を通して神経生理学に対する興味が強くなり、さらに詳しく学びたいと思い、研究に専念できる大学院への進学を決めました。修士課程では、運動パフォーマンスを向上させる認知特性に着目して研究を進めましたが、その中枢神経機構を明らかにするためにはさらなる研究が必要だと思い、博士後期課程への進学を決めました。

どのような研究を行っているかを教えてください。

患者さんに効果的なリハビリテーションを提供できるよう目指して、課題遂行時に向ける意識の違いが運動パフォーマンスに与える効果を調べています。課題中の筋肉の活動や関節の動き、姿勢バランス、脳内の神経活動などを総合的に検証し、その中枢メカニズムを明らかにしようとしています。また、京都大学医学部附属病院リハビリテーション部と協力して、患者さんを対象とした臨床研究も進めています。

大学院修了後の進路について教えてください。

研究者と臨床家の両方の視点を持った作業療法士になりたいと考えています。研究で得た成果や患者さんへのリハビリテーションを通して、作業療法の発展に貢献したいと思っています。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

リハビリテーションは、病気や怪我によって損なわれた機能の回復過程において重要な役割を担い、その中でも作業療法は、その人がその人らしく生活できるよう支援する素敵な職業です。ぜひ京都大学と一緒に作業療法を学びましょう。

大学院生からのメッセージ

修士課程在籍者



宇田 あかねさん（令和4年度修士課程2年）

大学院に進学したきっかけを教えてください。

私は京大を卒業し児童発達支援センターに就職しました。作業療法士1人の職場で先輩もいませんでしたが、他職種（保育士、心理士など）と共に働き議論することで、作業療法士に求められていることや作業療法の魅力を実感することができました。臨床を続けるうち、もっと作業療法の専門性を高めたいと思うようになり、臨床と研究の両立に力を入れている母校の大学院進学を決めました。また、先生方と学生の距離が近く、何でも相談できる関係にあることも選択の理由でした。昨年子どもが生まれ、研究と臨床と子育てを両立しています。子どもが休みの時には、おんぶしたままゼミに参加させてもらったりと、理解のある研究室でとても充実しています。

どのような研究を行っているかを教えてください。

自閉スペクトラム症児の反復的行動に興味を持ち、研究に取り組んでいます。

大学院修了後の進路について教えてください。

どんな形であれ、臨床も研究も継続していきます。子育てとの両立が難しいところもあるとは思いますが、結論を急がず、夢は諦めず、欲張っていきたいです。そしていつか作業療法を志す学生さんをサポートできる教員（研究者）になりたいと思っています。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

学部生の時も、臨床に出てからも、そして今も困ったときには母校の先生方に相談しています。研究と子育てを両立しようと思ったのも、教員を志したのも、ユニークな先生方との出会いがきっかけです。作業療法の活躍の場は広く、自分に合った研究や臨床の場が必ずあります。京都大学で待ってます！作業療法を学びましょう。



小川 明莉さん（令和4年度修士課程2年）

大学院に進学したきっかけを教えてください。

学部時代の講義や臨床実習を通して脳や神経の活動に興味を持ったこと、最先端の研究を行っている先生方の講義を受けて、研究のおもしろさを感じたことで大学院進学を意識し始めました。学部4年生になるまで迷いましたが、京都大学大学院という整った環境で意識の高い方々と一緒に研究を行うことに惹かれ、大学院に進学することを決めました。

どのような研究を行っているかを教えてください。

卒業研究で行ってきた人の力調節機能に関する研究を引き続き行っています。目に見える運動パフォーマンスだけでなく、課題中の脳活動や認知・運動制御機構がどのように関わっているかについて電気生理学的手法を中心に研究を行っています。

大学院修了後の進路について教えてください。

卒業後は大学・大学院で学んだリハビリテーション・作業療法や脳機能に関する知識を活用できる仕事をしたいと思っています。特に、地域で暮らす人々が生きがいを持って健康に暮らしていけるような社会づくりに貢献したいと考えています。

高校生の皆さんへのメッセージをお願いします。

私は一括入試で入学しましたが、障害を持った方々がその人らしく生活できるように支援する医療専門職に惹かれ、作業療法を学ぶことを決めました。作業療法は人々の生活に関わる様々な分野で広く活躍できる仕事であり、特に障害を持つ方々の生活を支える仕事に興味がある方は、ぜひ京都大学と一緒に作業療法を学びましょう！

先端作業療法学講座の教員および研究テーマ

先端作業療法学講座には9名の教員が在籍し、それぞれの専門領域におけるスペシャリストが教育・研究・臨床に携わっています。



稲富 宏之 教授

身近な用具を用いた精神機能測定、精神科リハビリテーション学



林 悠 教授

リハビリテーション・脳発達・認知症に注目した睡眠の作用の解明と改善方法の開発



梁 楠 准教授

認知運動神経科学、中枢・末梢神経障害に対するリハビリテーションに関する基礎および臨床研究



入江 啓輔 講師

手の不器用さと運動イメージに関する研究、整形外科疾患のリハビリテーション



兼重 美希 助教

運動制御の神経機構
脳・脊髄損傷後の機能回復
運動障害に対するリハビリテーション法の開発



十一 元三 教授

児童精神医学、認知神経科学、発達障害学、少年司法精神医学



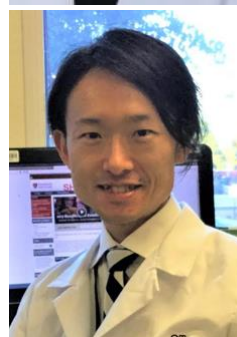
谷向 仁 准教授

がんなどの身体疾患に関連する認知機能障害および行動心理学的研究、認知症の臨床研究など



田畑 阿美 講師

がんのリハビリテーション、小児がん患者の復学支援・作業療法に関する臨床研究



草野 佑介 助教

後天性脳損傷児の神経認知機能と復学支援、高度医療を必要とする子どもの早期リハビリテーションと在宅移行支援

教員が行っている研究についてご紹介します。

梁 楠 准教授（臨床認知神経科学）

どのような活動を行っているかを教えてください。

脳や脊髄といった中枢神経系に障害を負う患者さんのリハビリテーション・作業療法では、対象者の神経系ネットワークの再構築を促すことが重要です。当研究室では、神経生理・神経心理学的手法、脳機能イメージング法、表面筋電図法、三次元動作解析など様々な実験手法を用いて、ヒトの運動時あるいは作業活動時に中枢神経系を非侵襲的に評価しています。

その研究成果がどのように作業療法の世界に活かされるのかを教えてください。

中枢神経損傷の患者さんでは、運動や感覚機能、認知機能が低下したり、日常生活の活動がうまくできなかつたり、また仕事や学業を続けることが困難になったりします。脳神経科学に基づき、脳に焦点を当てたアプローチ方法を用いることで患者さんの潜在能力を最大限に引き出すことができます。我々は様々な介入方法に伴う中枢神経系の興奮性変化、それらの神経基盤を解明するとともに、効果的な治療プログラムの開発を目指しています。

京大先端作業療法学講座で学ぶ意義を語ってください。

作業療法の臨床に関する専門知識や技術を習得し、作業療法士の国家試験に合格することは通過点にしか過ぎません。学部と大学院における様々な連携によって、最新の脳科学に精通し、確かな臨床力と研究力を備え、世界トップレベルの医療者・研究者、そしてリハビリテーション業界を牽引していくリーダーの育成を目指し、我々教員は全力でその手伝いをさせていただきます。

高校生へのメッセージをお願いいたします。

リハビリテーション・作業療法の臨床現場では患者さんと喜怒哀楽を共有し、とてもやりがいのある日々を送ることになると思います。一方、研究で得られた成果を用いて、明日にでも目の前の患者さんに適応し、その効果や喜びを患者さんと一緒に共感することができます。「ヒトを助けたい、ヒトのために何かしたい」、「ヒトに喜んでもらう仕事がしたい」、本気でそう思っている皆様はぜひリハビリテーション・作業療法の世界へ！

入江 啓輔 講師（臨床認知神経科学）

どのような研究活動を行っているかを教えてください。

自律神経の測定と解析方法を用いて、音を聞いているとき、点滅する光を見ているとき等、様々な感覚刺激を体験中の心拍数を計測します。そこから、心拍変動を分析して交感神経の活動と副交感神経の活動を算出します。安静時と各感覚刺激時の副交感神経の活動を比較することで、感覚刺激に対する過敏性を客観的に示します。対象者が普段の生活で感じている問題点などを聴取しながら、その要因に対して解決策を提案し、実践する治療を行っています。

その研究成果がどのように作業療法の世界に活かされるのかを教えてください。

統合失調症をはじめとする精神疾患を有する方には、音や光などの感覚に対する典型的ではない反応がみられることが確認されています。例えば、周囲の雑音から自分に必要な音を識別することが難しかったり、逆に普段は気にならないような換気扇の音がとても不快な音として聞こえてきたりするとされています。精神疾患の特徴として、これらの問題を客観的に示すことが難しく、他者に理解してもらいづらいことがあります。我々はこれらの特徴を定量的に示すことで、対象者と支援者が話し合い、適切な治療を見つけ出すことができるのではないかと考えています。

京大先端作業療法学講座で学ぶ意義を語ってください。

京都大学先端作業療法学講座では、作業療法士になるための知識や技術を習得するだけでなく、研究を通じて地域や社会に貢献する人材を育成する環境が整っています。

高校生へのメッセージをお願いいたします。

作業療法は子どもから大人まで、精神（心）から身体まで幅広い領域を、対象としている職業です。京都大学では、皆さんの好奇心を刺激する授業が多くあり、自分の興味を持った研究に取り組める環境が整っています。一緒に作業療法の未来を切り拓いていきましょう。

二つの入試制度

京都大学医学部人間健康科学科では、多様な人材を受け入れるため、以下の二つの入試制度を持っています。そのため、先端作業療法学講座で学びたい高校生の方は、二つの入試制度の違いを知り、自分に適した入試制度を選択してください（併願も可能です）。

一般入試

京都大学の従来の入試制度です。
世界トップレベルの先端医療技術の研究開発が行える人材としての基礎学力等を重視しています。

【入試】

人間健康科学科への受験

選抜方法 大学入学共通テスト
個別学力検査（二次試験）

（注）一般入試の場合、先端作業療法学講座を選択して受験することはできません。

【カリキュラムの特徴】

4年間の在学中にコース選択が1回、講座選択が1回あります。

①コース選択（2年次の7月頃）
先端リハビリテーション科学コースを選択



②講座選択（2年次の終了時点）
先端作業療法学講座を選択

特色入試

平成28年度入試から導入された、入試制度です。

作業療法の進歩と発展を研究、高度実践により牽引する役割を担う資質と志がある人材受け入れのため、筆記試験の点数だけでは評定できない医療専門職としての適性を重視しています。

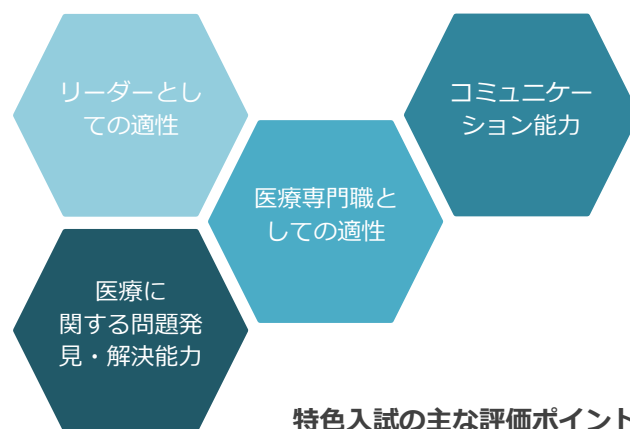
【入試】

先端作業療法学講座への受験

選抜方法 総合型選抜

【カリキュラムの特徴】

4年間の在学中にコース選択・講座選択はありません。



特色入試の主な評価ポイント

※詳しくは特色入試の選抜要項及び募集要項を**必ず**ご確認ください。

（京都大学特色入試Webサイト <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku>）

特色入試 Q & A

- Q1** 特色入試のニュース報道を見て、「京大の特色入試は、国際科学オリンピック出場者など特殊な人しか求めている」と思っていたのですが、先端作業療法学講座の特色入試もそうなのでしょうか？
- A1** 特色入試で求める人材像は、学部・学科によって大きく異なります。先端作業療法学講座は、作業療法を真摯に学び、それを発展させていく高い志を持った方を、特色入試を通じて受け入れたいと考えています。
- Q2** 特色入試は募集人数が少ないので、倍率がとても高くなるのではないかと思いますのですが、今までの先端作業療法学講座の特色入試の倍率はどうでしたか？
- A2** 平成28年度入試は、特色入試制度があまり知られていなかったこともあり、3名の募集に対し2名しか出願がありませんでした。過去5年（平成30年度から令和4年度）は、5名の募集に対しそれぞれ7名、8名、21名、4名、13名の出願がありました。令和5年度も、是非たくさんの方に挑戦していただきたいと思います。
- Q3** 特色入試は、なぜ他の入試とは違う時期・形式で試験を行うのですか？また、一般入試ではなく、特色入試を受験するメリットは何ですか？
- A3** 特色入試では、筆記試験の点数だけでは評定できない医療専門職としての適性を重視しています。そのため、一般入試とは異なる時期・形式（本冊子18ページ参照）をとっています。平成29年度入試より人間健康科学科の一般入試の定員が減りました。作業療法を学びたいという強い意志を持つ方にとって、特色入試は大きなチャンスですので、ぜひ挑戦して下さい。
- Q4** 特色入試と、人間健康科学科の一般入試（あるいは他大学の入試）の併願は可能ですか？
- A4** 併願は可能です。ただし特色入試は「合格した場合は必ず入学することを確約する者」ということを応募の条件にしています。そのため、合格した場合は当講座に入学していただくこととなります。
- Q5** 先端作業療法学講座の特色入試と、人間健康科学科の他コース・他講座の特色入試（先端看護科学コース、先端理学療法学講座）の併願は可能でしょうか？
- A5** 試験日が同じなので、併願はできません。
- Q6** 浪人していますが特色入試に出願できますか？
- A6** 高校卒業後1年以内であれば出願可能です。
- Q7** 特色入試を受験する上で、作業療法の専門知識は必要でしょうか？
- A7** 特色入試ではこれから作業療法を学びたいという人を求めています。専門知識については入学後に学んでいただけるように、カリキュラムを設計しています。

Q8 同じ高校から複数の生徒が先端作業療法学講座の特色入試に出願することはできますか？
また、同じ高校から人間健康科学科の特色入試に出願できる人数の上限はありますか？

A8 同じ高校から複数の方が先端作業療法学講座の特色入試に出願することは可能です。他の学科（先端看護科学コース、先端理学療法学講座）に関しても同様です。上限はありません。

Q9 先端理学療法学講座にも特色入試がありますが、どちらを受けるか迷っています。理学療法と作業療法はどのように違うのですか？

A9 理学療法も作業療法も、対象者の生活能力の向上を主な目的とし、多くの医療・福祉の現場で協業しています。理学療法とは病気、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に対し、運動機能の維持・改善を目的に運動、温熱、電気、水、光線などの物理的手段を用いて行われる治療法です（日本理学療法士協会ホームページより引用）。一方、作業療法では、こころやからだの病気などにより日常生活に支援が必要な全ての人に対し、様々な活動（作業）を通じて、生活に関連した基本的・応用的動作能力、社会の中に適応する能力を維持・改善し、その人らしく豊かに生きることを援助します。詳しくは、以下のページを参考にしてください。

- 公益社団法人 日本理学療法士協会 <http://www.japanpt.or.jp/>
- 一般社団法人 日本作業療法士協会 <http://www.jaot.or.jp/>
- 京大先端リハビリテーション科学コースHP <https://ptot.med.kyoto-u.ac.jp/>

Q10 特色入試を受験した場合、将来必ず作業療法士にならなければならないのでしょうか？

A10 卒業して国家試験に合格し、作業療法士免許を取得すれば、作業療法士として働くことができます。また、学んだ知識を生かして大学院に進学したり、一般企業や行政など、さまざまな進路を選ぶことができます。将来の職業選択を制限されることはありません。

Q11 作業療法について詳しく知らないのですが、興味はあります。何を見れば、もっと詳しく学べますか？

A11 日本作業療法士協会のホームページに、作業療法を紹介する動画などがありますのでぜひご覧ください。また本学先端作業療法学講座のホームページでも、作業療法について説明しています。

- 一般社団法人 日本作業療法士協会 <http://www.jaot.or.jp/>
 - 先端作業療法学講座ホームページ <http://ot.hs.med.kyoto-u.ac.jp/>
- また、作業療法についての書籍を読むこともお勧めです。先端作業療法学講座のホームページで紹介していますので、アクセスしてみてください。

Q12 特色入試のことについて色々詳しく聞きたいのですが、誰に相談したらよいですか？

A12 以下までお問い合わせください。

- 入試実施に関する内容：京都大学医学部人間健康科学科 教務掛 075-753-9313
- パンフレットに関する内容：先端作業療法学講座 info@ot.hs.med.kyoto-u.ac.jp

Q13 オープンキャンパスはありますか？

A13 2022年度のオープンキャンパスは諸事情を考慮し、一部の企画を除き原則オンラインにより開催することになりました。詳しくは、ホームページにてご確認ください。
https://www.med.kyoto-u.ac.jp/apply/open_campus/#hs_opencampus

高校生のみなさんへ



求む、トップレベルの「作業療法」研究者を目指す人！

このパンフレットを最後までお読みくださりありがとうございます。

ご覧のとおり作業療法はリハビリテーションの一つであり、対象となる人々に「作業」を使った治療や指導、そして必要に応じて援助や支援を行う医療専門職です。作業療法士が扱う「作業」は、その人にとって目的や価値のある生活行為すべてを含みます。たとえば、身体を動かす運動や暮らしに必要な動作だけでなく、社会に参加していくうえでの役割などがあげられます。そうした生活行為を支える気持ちやこころの基盤となる精神機能を現実に適応するように働きかけたりもします。

作業療法は難しく見えそうですが、そのような「作業」を用いた療法(セラピー)です。このように作業療法は、実にシンプルなやり方で人に優しく適応を促すため、求人件数も多く社会から大きな期待が寄せられています。しかも作業療法には科学的に解明すべき課題が多く残されており、学問として探究しがいのある領域でもあります。高校生の皆さん、世界トップレベルの研究拠点の京都大学で作業療法を究めてみませんか。ぜひお待ちしております！

先端作業療法学講座長 稲富 宏之



先端作業療法学講座教員一同、お待ちしております！

作業療法についてもっと知りたい方へ

「作業療法士」に出会ったことはありますか？ もし今までに、あなたや身近な人がリハビリテーションを受けたことがあるなら、そのリハビリテーションを担当していたのは、もしかしたら作業療法士かもしれません。作業療法士は、リハビリテーションに携わる専門職（国家資格）であり、病院や医療関連施設に勤務しています。

作業療法を知るためのリンクを以下に用意しています。QRコードを読み取ってアクセスしてみてください。

作業療法士ってどんな仕事？

日本作業療法士協会
ホームページ



作業療法紹介パンフレット 1・2



作業療法士の活躍を動画で見たい

「お箸でラーメンが食べたい」
(YouTube動画)



「二本の傘」
(YouTube動画)



京都大学の作業療法学講座って どんなところ？

京都大学医学部人間健康科学科
先端リハビリテーション科学コース
先端作業療法学講座
ホームページ



京都大学医学部附属病院で行われている 最先端医療を動画で見たい

京都大学医学部附属病院
紹介動画



京都大学医学部人間健康学科って どんなところ？

京都大学医学部人間健康科学科
ホームページ



問い合わせ

以下のQRコードを読み込むと、
先端作業療法学講座のメールアドレスが
表示されます。





京都大学
KYOTO UNIVERSITY

連絡先

■京都大学医学部人間健康科学科 教務掛

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 TEL 075-753-9313 / FAX 075-753-4637

■京都大学医学部人間健康科学科 先端リハビリテーション科学コース 先端作業療法学講座

E-mail info@ot.hs.med.kyoto-u.ac.jp URL <http://ot.hs.med.kyoto-u.ac.jp/>

人間健康科学科へのアクセス・交通案内については、
下記HPを参照してください。QRコードからもアクセス可能です。

<http://ot.hs.med.kyoto-u.ac.jp/>



発行日：2022年7月14日

発行：京都大学医学部人間健康科学科 先端リハビリテーション科学コース 先端作業療法学講座